



SANSHIN GROUP Monthly Report on the ESG Dec.2025

INDEX

1. サンシングループ 経営理念
2. サンシングループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report（品質）
7. ESG Report（環境）
8. ESG Report（地域貢献活動）

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 週次/月次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケ・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジ法・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会の開催

TOP MESSAGE

養殖の現場に映る“自然との距離”

ウナギの旬と言えば「土用の丑の日」など夏を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、実は本当の旬は冬なんです。

脂がのり、旨みが増すこの時期こそが、ウナギにとっての“食べごろ”です。

そんなウナギの完全養殖が進む一方で、養殖場で育つ個体のほとんどがオスになる。そんな現象が知られています。

ウナギは、環境によって性別が決まる魚で、とくに高密度で画一的な水槽環境では、自然とオス化しやすくなります。この偏りを補うため、近年では植物由来成分を加えた飼料によってメスへ誘導する技術も実用化されつつあります。

成長が早く、食味にも優れたメスウナギの生産は着実に前進していますが、完全に自給自足型の養殖サイクルを回す技術は、いまだ確立されていません。

この秋、山からクマが人里に現れたように、ウナギもまた、人の手で整えた環境のなかで“思い通りには育たない”存在。

-技術と自然のあいだ。

その“ちょうどいい距離”を探す営みは、水槽のなかにも、山のふもとにも、確かに存在しています。

サンシン電気株式会社
執行役員 清原 幸雄

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

令和7年版（2025年）の環境白書は、「新たな成長」を導く持続可能な生産・消費とグリーン経済システムの構築をテーマに、気候変動や生物多様性損失・汚染という環境危機への対応策や政策の現状・今後の取り組みをまとめています。ネット・ゼロや循環経済、自然再興の統合的推進が重視されています。（Y.Y.）

SANSHIN Hong Kong

The Environmental Protection Department now has "Smart Kitchen Waste Dispensers" installed in over 100 public housing estates across Hong Kong, it is more easy for everyone to collect their Kitchen waste. You can also accumulate Green Rewards points and redeem them for daily necessities or food items. Combined with technological advancements, government provide convenient methods to gradually make citizens adopt these activities to increase the environmental awareness. (C.W.)

CSI

普段は特に四季を感じにくいセブですが、クリスマスが近づいてくると変化を感じます。12月になりセブマクタンのメイン道路中央分離帯にクリスマスの電飾がつけ始めました。以前は電飾の点滅が目立つ仕様で、ガチャガチャしていましたが、今はLEDになりツリーやトナカイの枠を青色にデコレートしています。（K.S.）

SANSHIN West

秋頃よりインフルエンザが流行を見せ始めています。予防のためにもマスクの活用、手洗いやアルコール消毒を頻繁に行うことが大切です。また湿度50～60%の適度な加湿状態にしてこまめな換気を行い室内環境を整えることが大切です。感染症のため完全に防ぐことは難しいですができる対策を行いましょう。（Y.A.）

SHINKOWA

早いものでもう12月です、今年を振り返ってみて日本は“四季”から“二季”になってきているように感じます。春や秋の過ごしやすい時期が少なくなり、暑い時期と寒い時期のようになっていると感じます。空気が乾燥する冬の時期は、コロナやインフルエンザ風邪予防をしっかりと、この流行にはのらずに過ごしましょう。（M.N.）

SC2

昭和50年代あたりは、年の瀬に出し損ねたごみを庭や空き地で燃やす人が多くいました。一斗缶にあかあかと燃える火は、現代なら通報もの（汗）時代とともに大気汚染の原因も変わります。今は日用品に含まれる化学物質が課題です。一億人が環境への加害者となっている状況を変えましょう。2026年は目の前です。良いお年を。（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

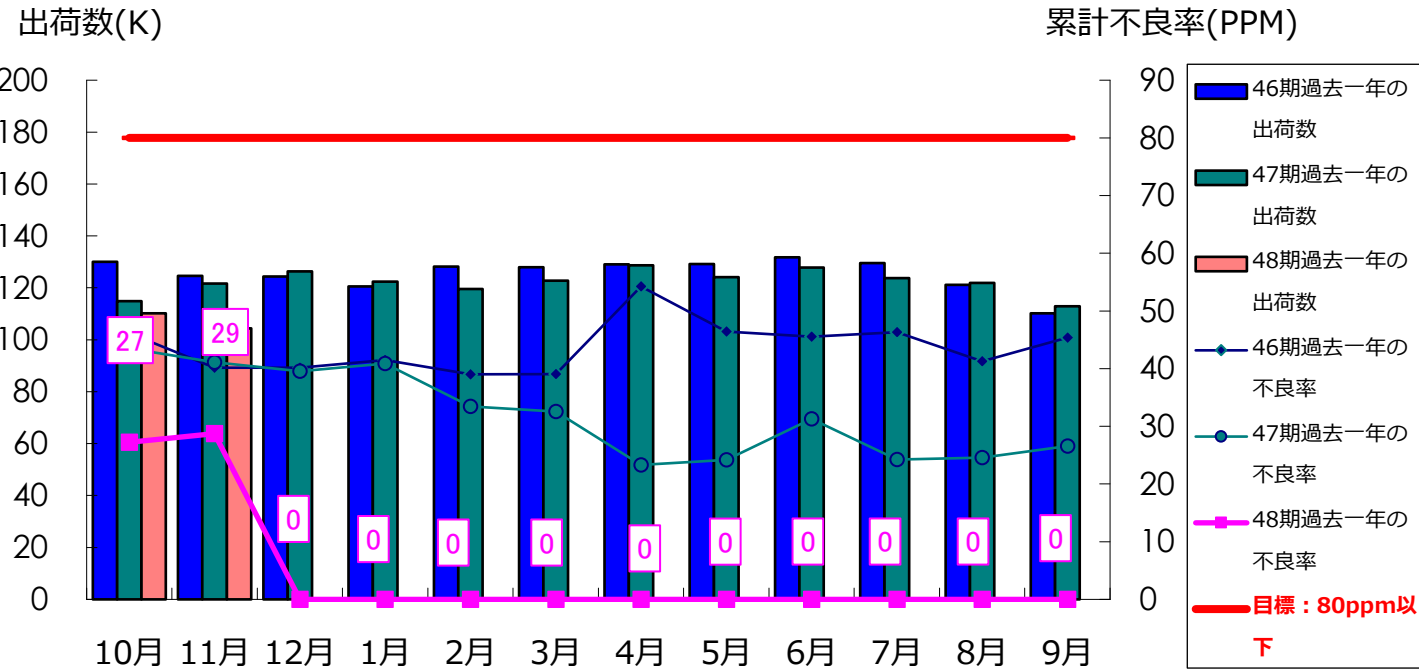
1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

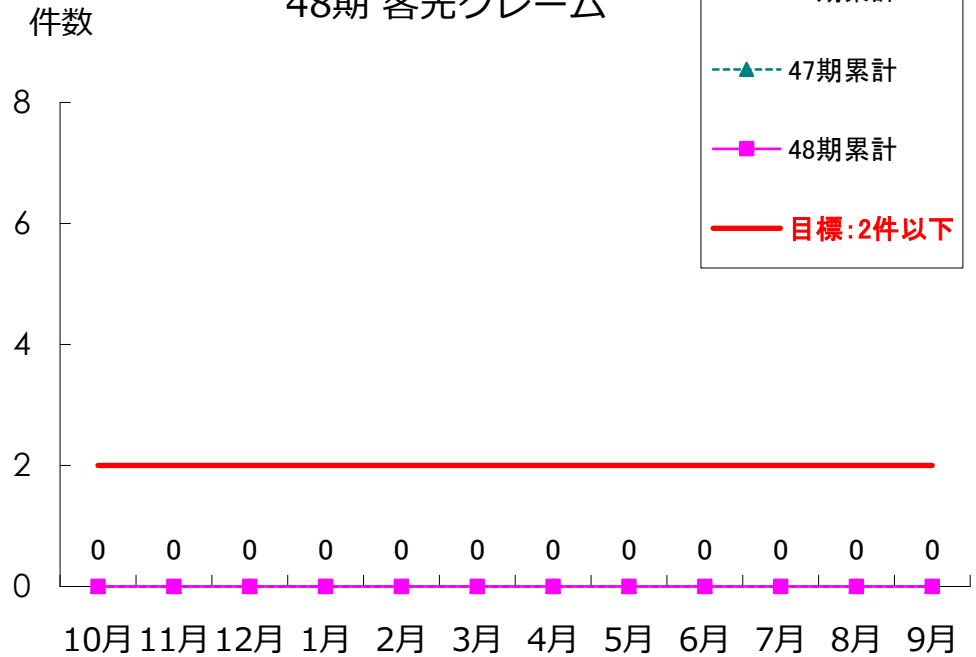
納入品不良率（目標：80ppm）
48期の累計不良率(解析依頼含む)：29ppm

客先クレーム（目標：2件以下）：0件

48期 市場不良率「ユニット製品」



48期 客先クレーム

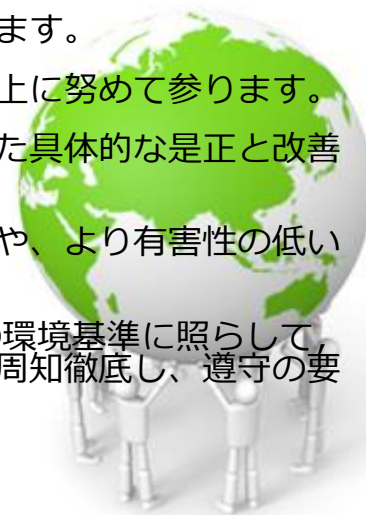


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

□ 環境トピックス 2025：年間の主要事象まとめ

2025年に世界各地で発生した、環境およびエネルギーに関連する主要な出来事を時系列でまとめました。本年は、各国のエネルギー政策の転換、国際条約の合意、および記録的な気象事象が重なった1年でした。今後の事業計画や環境対応の参考資料として、年間の推移を概観します。

■ 【1月～3月】 米国の転換と資源循環のルール化

1月：米トランプ政権発足、パリ協定離脱を再表明

大統領就任初日に、バイデン前政権の気候変動政策を大幅に見直す大統領令に署名。世界最大の経済国である米国の離脱方針は、世界の環境投資や外交に大きな衝撃を与えました。

2月：日本政府、2040年を見据えた「第7次エネルギー基本計画」を策定

日本のエネルギー政策の中長期的な指針が決定。電力需要の増大に対し、再生可能エネルギーの導入拡大と、原子力発電の持続的な活用の両立が盛り込まれました。

3月：プラスチック汚染防止に向けた「国際条約」が実質合意

国連の交渉会議（INC-5）を経て、プラスチックの生産から廃棄までを国際的に規制する法的拘束力のある条約の骨子が固まりました。

TOPICS

■【4月～6月】 欧州の規制発動と日本の義務化

4月：改正建築物省エネ法施行（日本）

これまで努力義務であった小規模な住宅を含むすべての新築建物において、国の定める省エネ基準への適合が義務化されました。

5月：G7気候・エネルギー・環境大臣会合（イタリア）

先進7カ国が、2030年代前半までの「石炭火力発電の段階的廃止」に合意。エネルギー転換への強い決意を国際社会に示しました。

6月：EU「森林破壊防止条例（EUDR）」の本格運用開始

森林破壊の原因となる原材料（ゴム、木材、大豆など）を使用した製品のEU域内への輸出入が厳格に規制され、グローバルなサプライチェーンに実務的な影響が及びました。

■【7月～9月】 異常気象の実害と「適応」の加速

7月～8月：世界平均気温が過去最高を記録

欧州、北米、そして日本でも記録的な猛暑が続き、各地で干ばつや森林火災が発生。「気候変動への適応」が個人の健康や企業の事業継続における喫緊の課題となりました。

9月：国連未来サミットにて「将来世代のための宣言」を採択

ニューヨークで開催されたサミットで、環境保護を含む持続可能な未来に向けた国際協力の強化が宣言されました。

TOPICS

■【10月～12月】 2030年への決意と新目標の提出

10月：欧州「炭素国境調整措置（CBAM）」の本格移行準備 炭素価格が低い国からの輸入品に課金する仕組みにおいて、事業者の排出データ報告の義務化が定着し、企業のコスト構造に直接的な影響を与え始めました。

11月：COP30（国連気候変動会議／ブラジル）開催 パリ協定から10年の節目。アマゾンの玄関口ベレンで、各国が2035年に向けた野心的な排出削減目標（NDC）を提出し、地球温暖化を1.5℃に抑えるための最終的な議論が行われました。

12月：日本、排出量取引制度（GX-ETS）の第2期詳細が決定 2026年度からの本格導入に向け、排出枠の割り当てルールや取引手法の具体案が固まり、脱炭素が「コスト」として経営に組み込まれる体制が整いました。

2025年は、環境対策が「理念」の段階を過ぎ、法律や条約という「強制力のあるルール」へと完全に移行した1年でした。各国の政策に不透明感が出る場面もありましたが、極端な気象災害の激甚化を背景に、脱炭素への流れが後戻りできないものであることを世界が再確認しました。私たちは一社会人として、このルール変更を的確に捉え、日々の活動が将来の環境にどのような影響を与えるかを常に意識して行動していく必要があります。

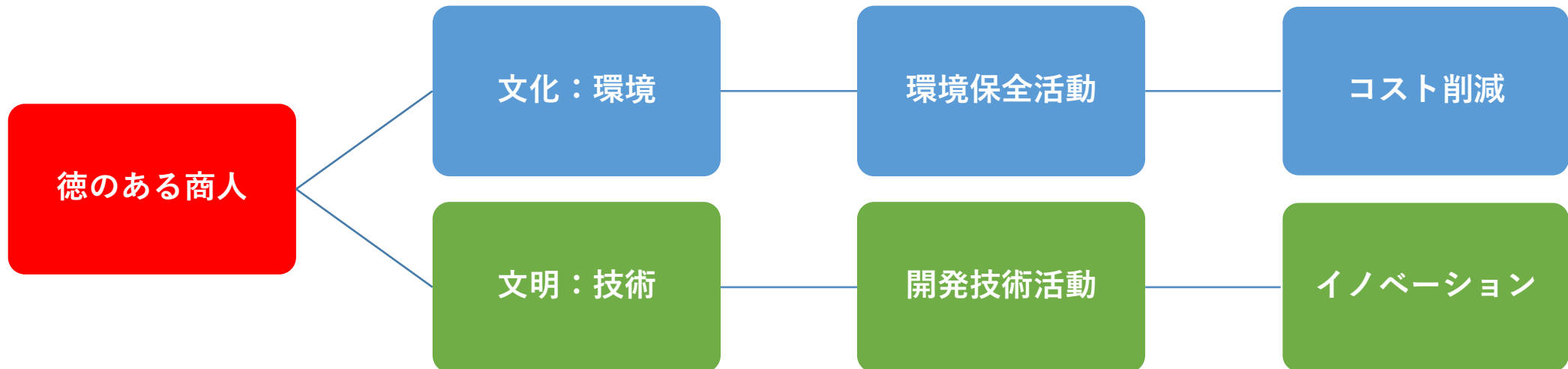
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

＊サンシングループ経営理念

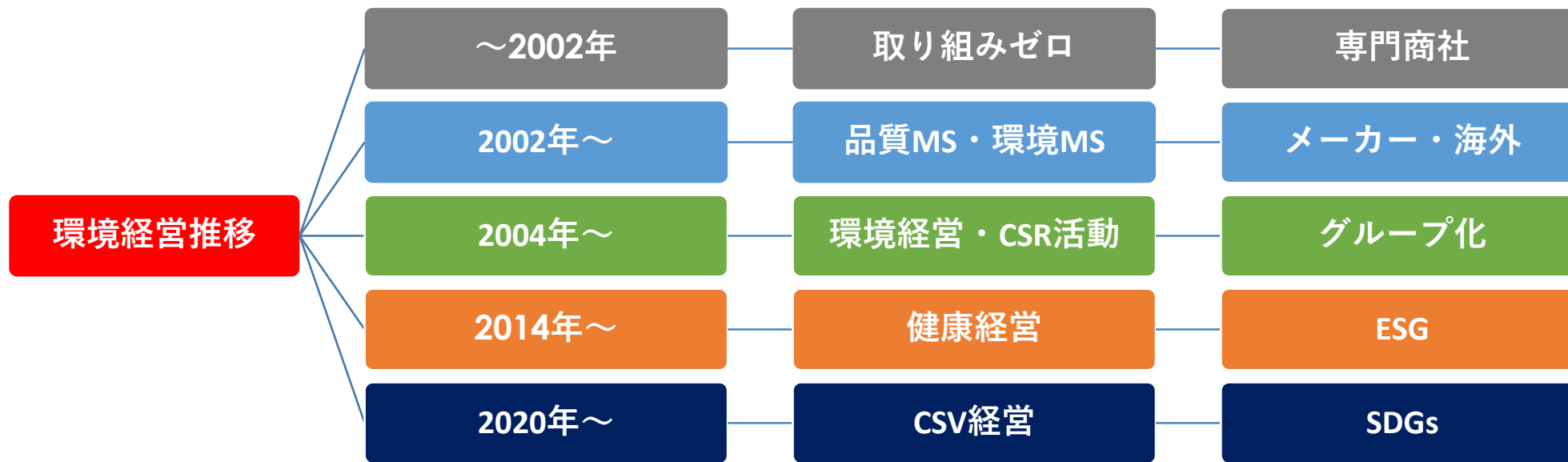
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備.

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設. CSRを能動的に展開.

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視.

3. コスト削減実績

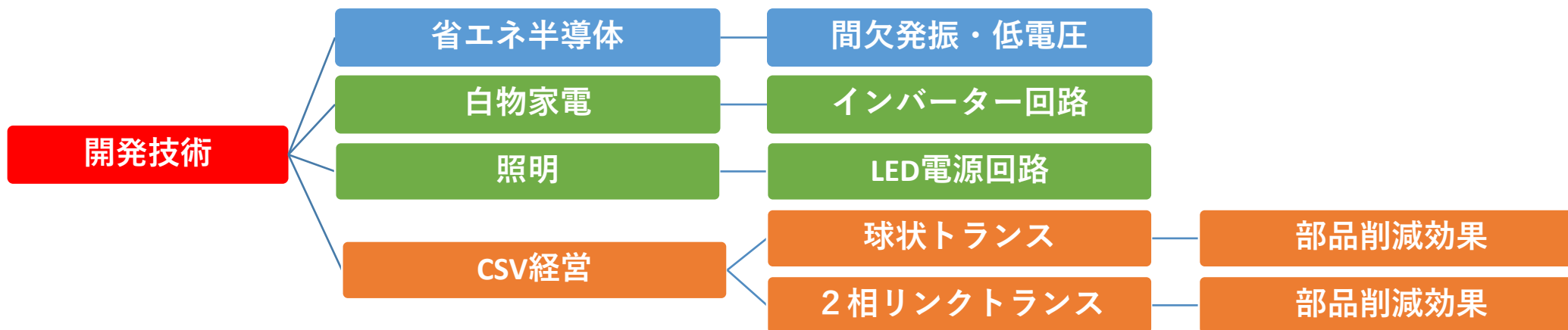
- 紙/ゴミ/電気，三種の神器，徹底削減の継続
- テレワークによる電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント

⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト＝価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

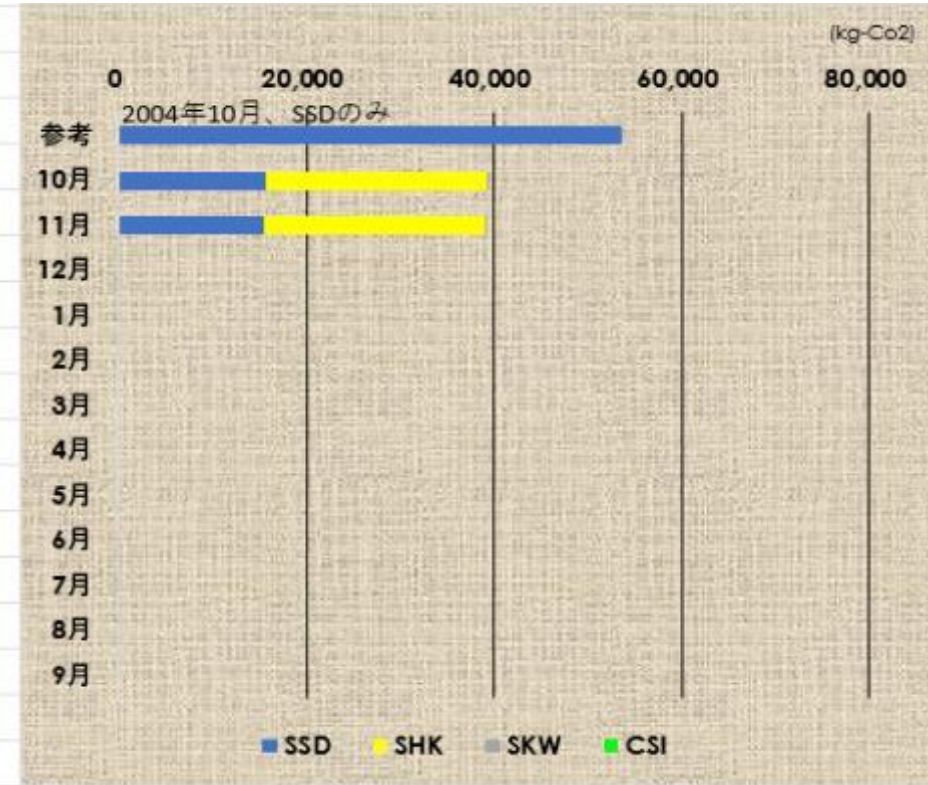
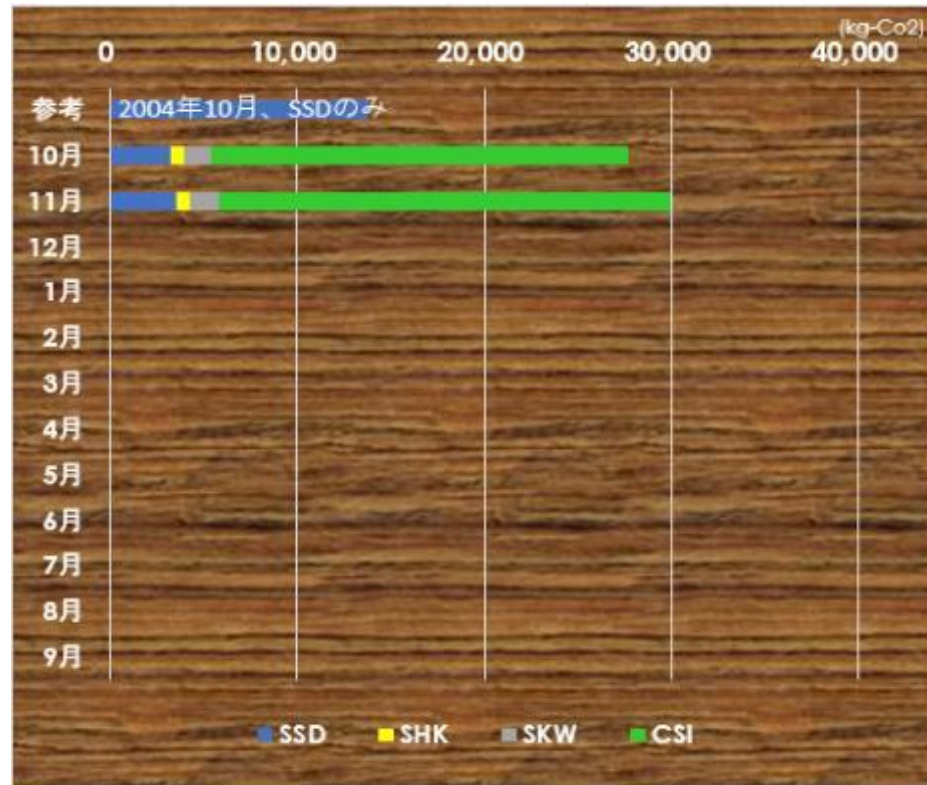
6. まとめ

- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組めます！

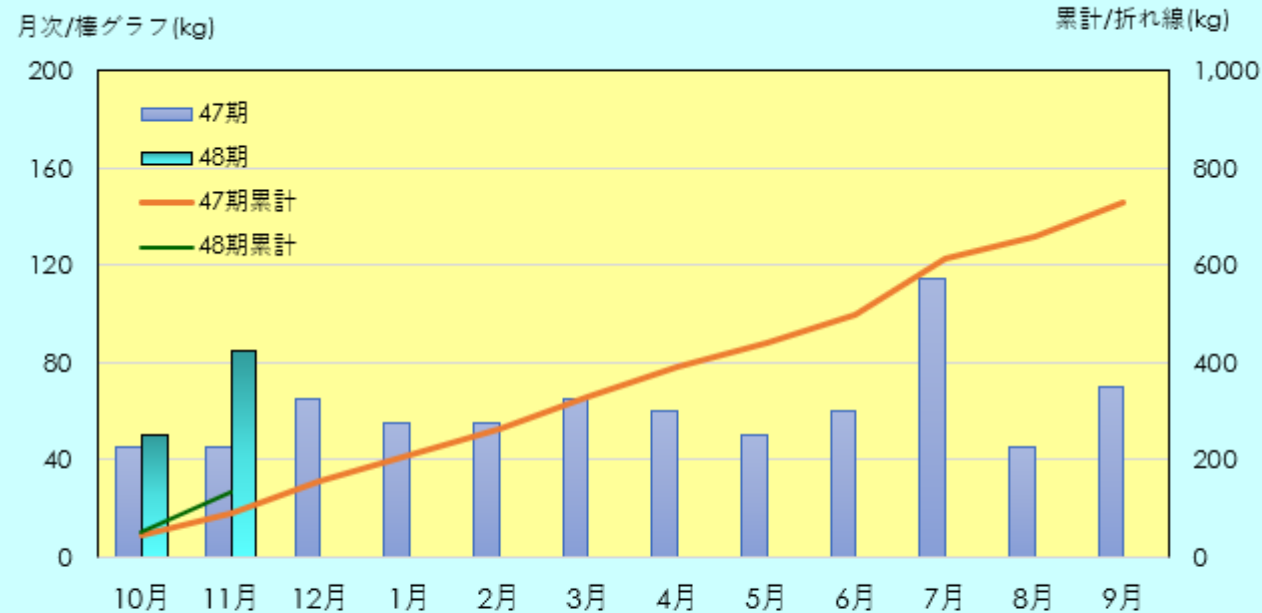
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

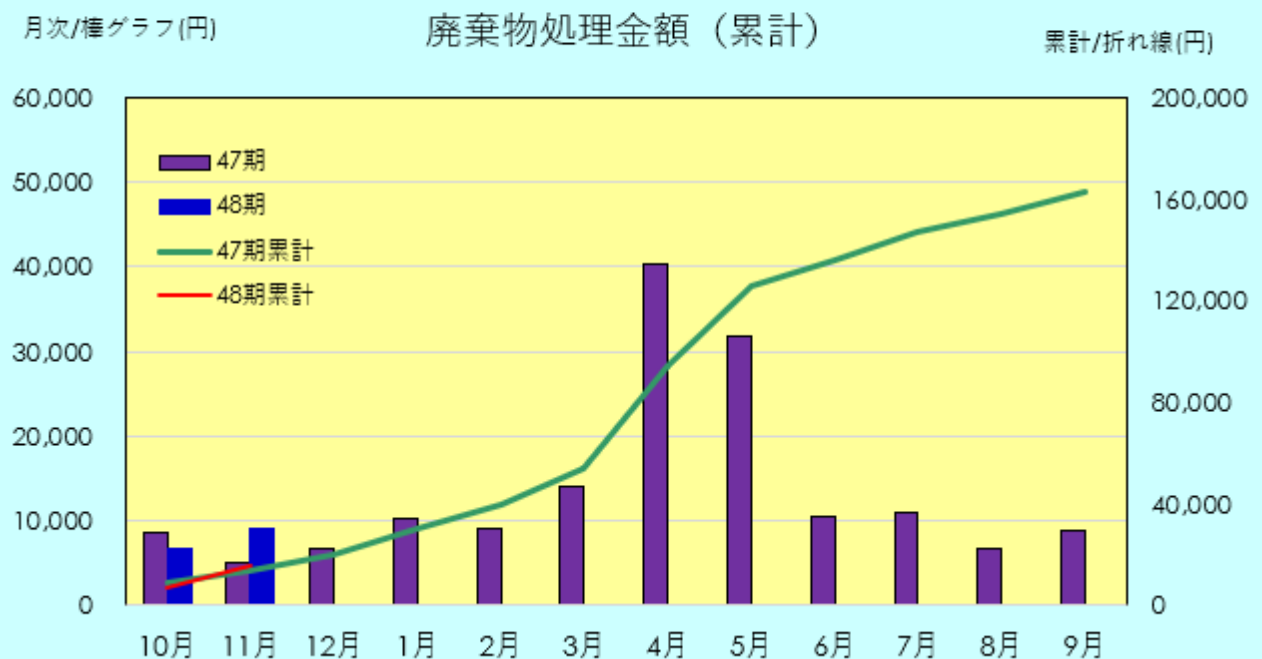
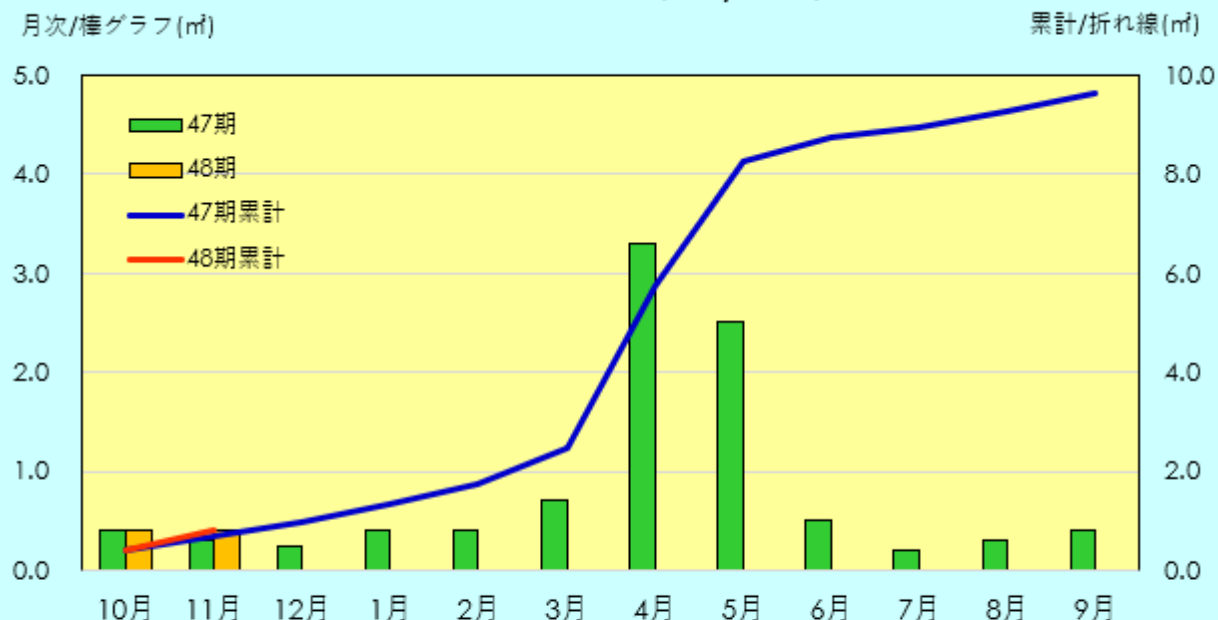
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物（SSD/本社）



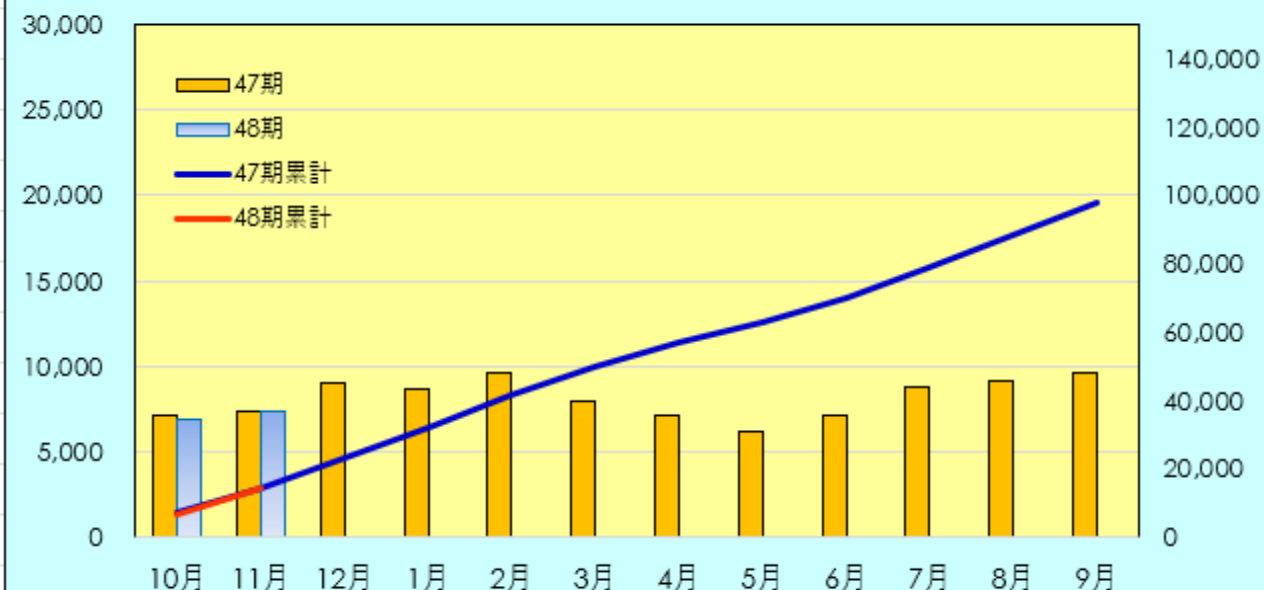
一般産業廃棄物（SSD/本社）



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

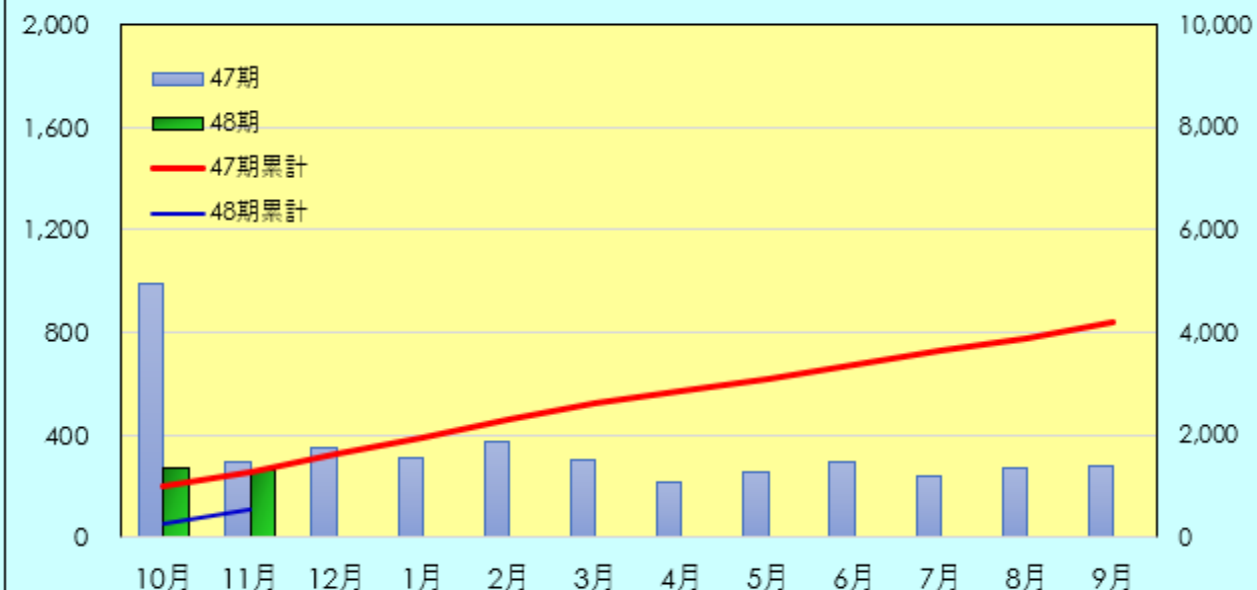
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

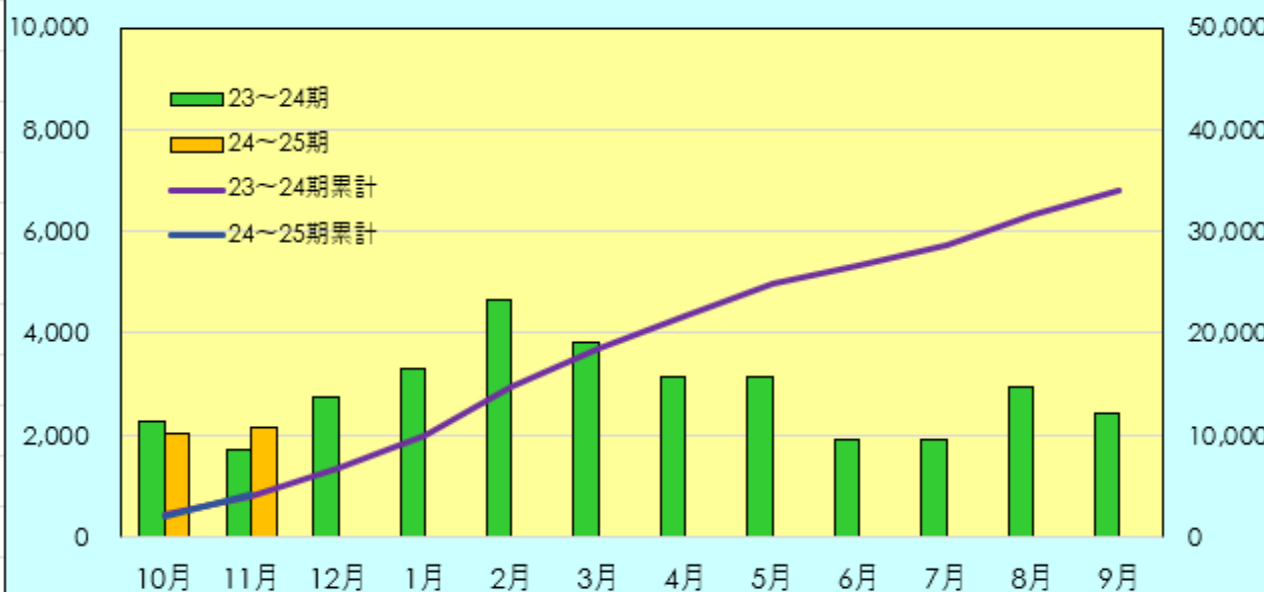
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

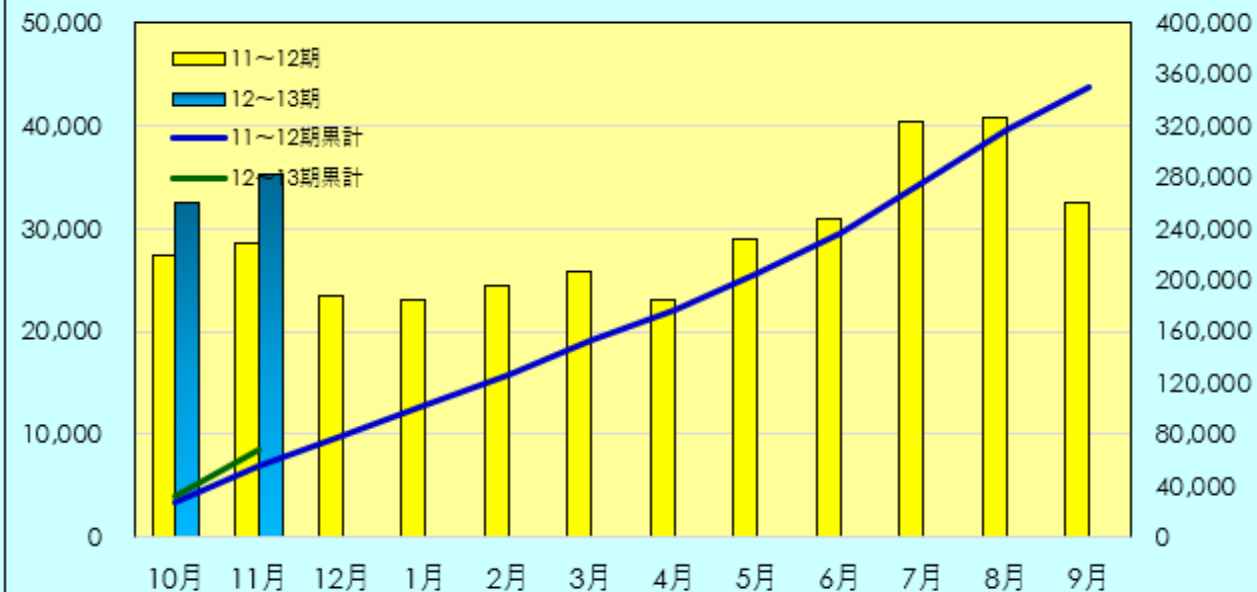
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン大学「QC研修会」開催

2025年12月19日、サンシン大学「QC研修会」を開催しました。

本研修会では、グループ全社を対象に、QCに関する基礎知識の再確認から、品質向上に向けた考え方の共有、さらに環境関連規制を含む最新動向について理解を深めました。

品質は製品の信頼性を支える重要な要素であり、全社員が共通の認識と知識を持つことが不可欠です。

今後もサンシングループでは、全社員がQC知見を「共通言語」として身に着けることを目指し、継続的なQC教育に取り組んでまいります。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（11月参加人数：延べ5名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

